


おゆみの中央病院 再生医療

多血小板血漿(PRP)療法 (形成外科)

美容形成領域	形成外科領域
しわ・たるみ・皮膚の張りの低下など、 老化した全身の軟部組織 (皮膚等)  *発毛目的は除きます。	症状が固定、若しくは固定化しつつある 軟部組織や、一般の治療では改善の期待 が低い損傷等  *保険診療と併用はできません。

手・腕

口元

毛穴

皮膚の張り

外傷

首

床ずれ

目元
目じり

小じわ (ちりめんじわ) ~ 中じわ

難治性
潰瘍

血小板には皮膚を修復する働きがあります。PRP (多血小板血漿) 療法は特別なキットを用いて、ご自身の血液から、血液よりも血小板濃度の数倍濃い血漿成分を含むPRPを作り出します。そのPRPを注射器を用いて直接皮膚や軟部組織に注入し、細胞の持つ再生力を強化させることで、傷を目立たなくさせたり、エイジングケアの効果を高めることが期待できます。

ご自身の血液からフルオーダーメイドで作られた安全なPRP (再生医療) を、あなたのお肌で試してみませんか。

PRP療法のメリットとデメリット

メリット・デメリットには個人差があり、これらの効果や症状は出現しない場合もあります。

メリット	デメリット
ご自身の血液から抽出する為、感染症やアレルギー反応が起こりにくい。	効果に個人差があります。また、効果が現れるまでの期間にも個人差があります。
通院だけで実施できます。また、施術直後も日常生活に大きな制限がありません。	自費診療であるため、費用が高い傾向があります。
効果がじわじわ出現する為、施術を受けたことが気付かれにくい。	実施後の数日間、痛みや腫れ・痒み、熱感・発赤などを伴う場合があります。
一度固定してしまった症状にも、改めてアプローチすることができます。	但し、他の施術と比べ格段にダウンタイムが短いのも特徴です。
注入に注射器を用いる為、他の施術と比べて治療機器による肌の損傷が少なく、身体にかかる負担がとても小さい。	形成外科領域における入院中の治療は、混合診療にあたる可能性があり、施術できない場合があります。
効果が長続きし易い。	

PRP療法実施後のご注意

注意点は、施術に際してカウンセリングを行う際や、施術後にもご案内いたします。また、ご質問やご不安な点があれば、お気軽に主治医・医療スタッフまでお声がけいただければ幸いです。

症状

- ・腫れぼったさや違和感を感じられる方もおられます。いずれの場合も多くの場合、実施部位のクーリングで数日のうちに症状は改善します。

※ 痛みが持続される場合は、担当医にご相談ください。

服薬

- ・痛み止めの使用は、担当医の処方する薬のみをご使用ください。
- ・薬によっては治療に影響を及ぼす場合があります。現在服薬されている方や、治療後に新たに服薬が開始された方は、服薬内容を担当医にご相談ください。

入浴

- ・実施日は注射箇所への感染予防のためご入浴はお控えください。翌日からご入浴を推奨いたします。
- ・入浴に際しまして、実施部位の注射パッチはお剥しになってからご入浴ください。

成長因子は、肌や傷への修復力を高める働きが期待されます

加 齢

・長年、蓄積された刺激・疲労によるお肌へのダメージ

成長因子
減少

- ・血管内皮細胞の増殖・新生力や線維芽細胞活性の低下
- ・コラーゲン・ヒアルロン酸の産生効率の低下
- ・マクロファージ・細胞の不活性化

老 化 現 象

しわ・たるみ・透明感・潤いの減少など

ここにアプローチします



<Doctor Voice>

おゆみの中央病院 形成外科部長 力久 直昭医師

PRP療法は、ヒアルロン酸注入のように、吸収されて元に戻ってしまうものではなく、細胞を活性化させ、長期に渡って修復する働きが続く点が特徴です。また、安全面・衛生面にも細心の注意を払っております。例えば、効果は高まるがリスクの報告がある人工成長因子の添加を行わないなど、安全面と衛生面を最優先に考えたPRPの抽出・作製を、治療に対する考え方から一貫して整えています。

当院におけるPRP療法の流れ FLOW CHART

STEP.1

カウンセリング (初日)

患者さんのお悩みを伺います。治療部位の確認や、必要とされるPRP量(かかる費用)の確認、治療方針や期待できる効果などをお伝えします。PRP療法の実施日を決定します。

当院での治療が初めての方は、血液感染症検査を実施します。

STEP.2

PRP療法実施 (2日目)

当院で採血を行います。採れたての血液で直ちにPRPの抽出・作製を細胞培養加工室(無菌操作)にて行います。

表面麻酔を行った患部に、医師が注射器を用いて注入します。

STEP.3

アフターケア検診 (3日目)

PRP療法の施行後の様子を拝見します。

※ 事前にご希望があれば、PRP療法を実施することも可能です。

治療より6カ月経過後

(必要に応じ)

血液感染症検査を実施します。

当院では、治療を継続している方や再開される方でも、初回の血液感染症検査より6カ月を経過した際、血液感染症検査を実施いたします。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

PRP療法費用について

PRP療法は自費診療です。

お支払いは、クレジットカードもご利用いただけます。

STEP.1 カウンセリング (初日)

血液感染症検査費用 (カウンセリング費用を含みます)	¥17,600 (税込)
----------------------------	--------------

※治療開始より6ヵ月経過時に、あらためて血液感染症検査をお願いしております。

STEP.2 PRP療法実施 (2日目)

施術費用 (PRICE LIST)	
採血量と施術部位の範囲の目安	
血液採取量約10mlの場合 (目の周り・目尻)	¥33,000 (税込)
血液採取量約20mlの場合 (顔全体)	¥55,000 (税込)
血液採取量約30mlの場合 (顔全体～首)	¥77,000 (税込)
血液採取量約40mlの場合 (顔全体～首、その他)	¥99,000 (税込)

STEP.3 アフターケア検診 (3日目)

アフターケア検診	¥3,300 (税込)
----------	-------------

費用の詳細についてご不明な点は、病院受付までお問い合わせください。

PRP療法にかかる費用は、医療費控除の対象です。詳しくは、税務署までお尋ねください。

医療法人社団 淳英会 おゆみの中央病院
 〒266-0033 千葉県千葉市緑区おゆみ野南六丁目 49 番地 9
 TEL:043-300-3355 FAX:043-300-3377
 詳しくは、病院受付 (PRP担当) までお問合せください。